

Local Area News

関東甲信越静地区印刷協議会 第60回年次大会 群馬県印刷(工)

群馬県印刷工業組合(吉田吉太郎理事長、組合員57人)は、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、7月6日から7日にかけて、関東甲信越静地区印刷協議会の第60回年次大会を開催した。

本大会は例年、10県の印刷工業組合の理事長、役員が一堂に会し、相互の連絡・協調や研究等、組織活動の強化を図る場となっている。今年のスローガンは「業態変革の絆で結ぶ印刷人」。来賓を含め、約120人が集まった。当日はまず、吉田理事長が挨拶。

午前中は、全日本印刷工業組合連合会副会長白田真人氏による事業概況セミナーや、同連合会専務理事生井義三氏による事業支援概況説明が行われた。

午後からは、分科会を行い、全体会議でその結果をとりまとめた。その後、記念式典・懇親会が行われた。来賓として、群馬県産業経済部長根岸富士夫氏、高崎市長富岡賢治氏、群馬県商工会議所連合会曾我孝之会長、高崎商工会議所原浩一郎会頭などが出席したほか、中央会から金子会長も出席した。翌日は、ゴルフ大会が行われ、さらに交流が深められた。

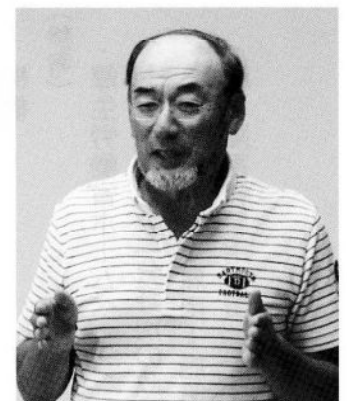
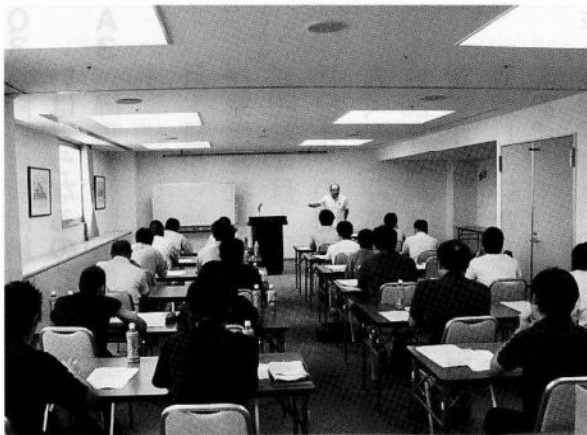


セミナーの様子

金属プレス講習会開催 2級技能士を目指す 群馬県金属プレス工業会

群馬県金属プレス工業会(新貝隆一代表幹事、会員110人)は、高崎市・ニューサンピアにおいて、7月19日と26日の2日にわたり、金属プレス講習会を開催した。

本講習は、8月19日の金属プレス技能検定2級の試験に向けたもの。技能検定試験は、実技試験として、作業試験とペーパーテストが行われ、さらに学科試験も行われる。



坂上嘉孝氏

講師は両日とも、一級技能士の坂上嘉孝氏。実技、学科両方の筆記試験への対策として、金属プレスに関する様々な内容が扱われた。

初日は、まず、プレス加工の種類・特徴、プレス機械の種類・駆動機構・能力、機械プレスと油圧プレスの比較、緊急時の措置、加工物に生じる欠陥とその防止法、また、安全装置等について図解入りのレジュメに沿って説明。続いて、過去の技能検定で出題された問題を実際に解きながら、解説を行った。

2日目は、初日より古い年度まで遡って過去問を解説した。

最後に、坂上氏は「技能検定のペーパーテストは、過去に出題された問題と似た問題が数多く出題されており、過去問を繰り返し解き、復習することが一番の試験対策になる」と締めくくった。

LAW

第23回ビアパーティー開催

高崎卸商社街(協)

高崎卸商社街協同組合(松本修平理事長、組合員116人)は、7月25日、高崎市・問屋街センター展示会館において、恒例となっている第23回問屋街ビアパーティーを開催した。

高崎問屋街青年経営者研究会が中心となつて、参加者にビールと料理を楽しんでもらう福利厚生活動で、毎年人気を博している。

昨年の大盛況を踏まえ、定員を例年より100人増やし、600人を募集したが、受付初日の午前中には応募数が定員に達し、当日

の参加者は、773人となった。午後6時30分の開場前から参加者が集まり、10分前には行列がでるほどの賑わいを見せていた。

これほどの人数にもかかわらず手際のよい設営で混乱もなく、参加者は早速ビールと料理をテーブルに広げていた。実行委員長の司会により開会し、松本理事長が挨拶をし、乾杯の音頭をとった。

後半には、恒例の大抽選会が行われ、参加者は、抽選番号が読み上げられるたびに一喜一憂しながら、大いに盛り上がりを見せた。



桐生織物記念館

リニューアルオープン

桐生織物(協)

桐生織物協同組合(後藤隆造理事長、組合員126人)では、桐生織物記念館をリニューアルし、8月から、織物にまつわる資料を集めた「織物資料展示室」を2階にオープンさせた。

展示室は、大広間だった約100坪を改修したもので、1300年の歴史を持つ「桐生織」



国登録有形文化財の桐生織物記念館



1階の桐生織物販売場

の伝統的な技術・技法、様々な道具や製品などを、その工程に沿って紹介している。組合で保管されていた明治時代の貴重な歴史的資料や文献なども初めて披露。桐生織の持つ魅力やそこに息づく日本のものづくりのダイナミズムを体感することができる。入場は無料。

また、展示室の開設に併せて、1階の「桐生織物販売場」も拡張。帯や着物をはじめとする和装品、婦人服地やネクタイなどの洋装品のほか、産地を代表する商品を多数取り揃えている。

開館時間は、10時～17時。休館日は、毎月最終土・日曜日と8月13日～16日、12月29日～1月3日。